

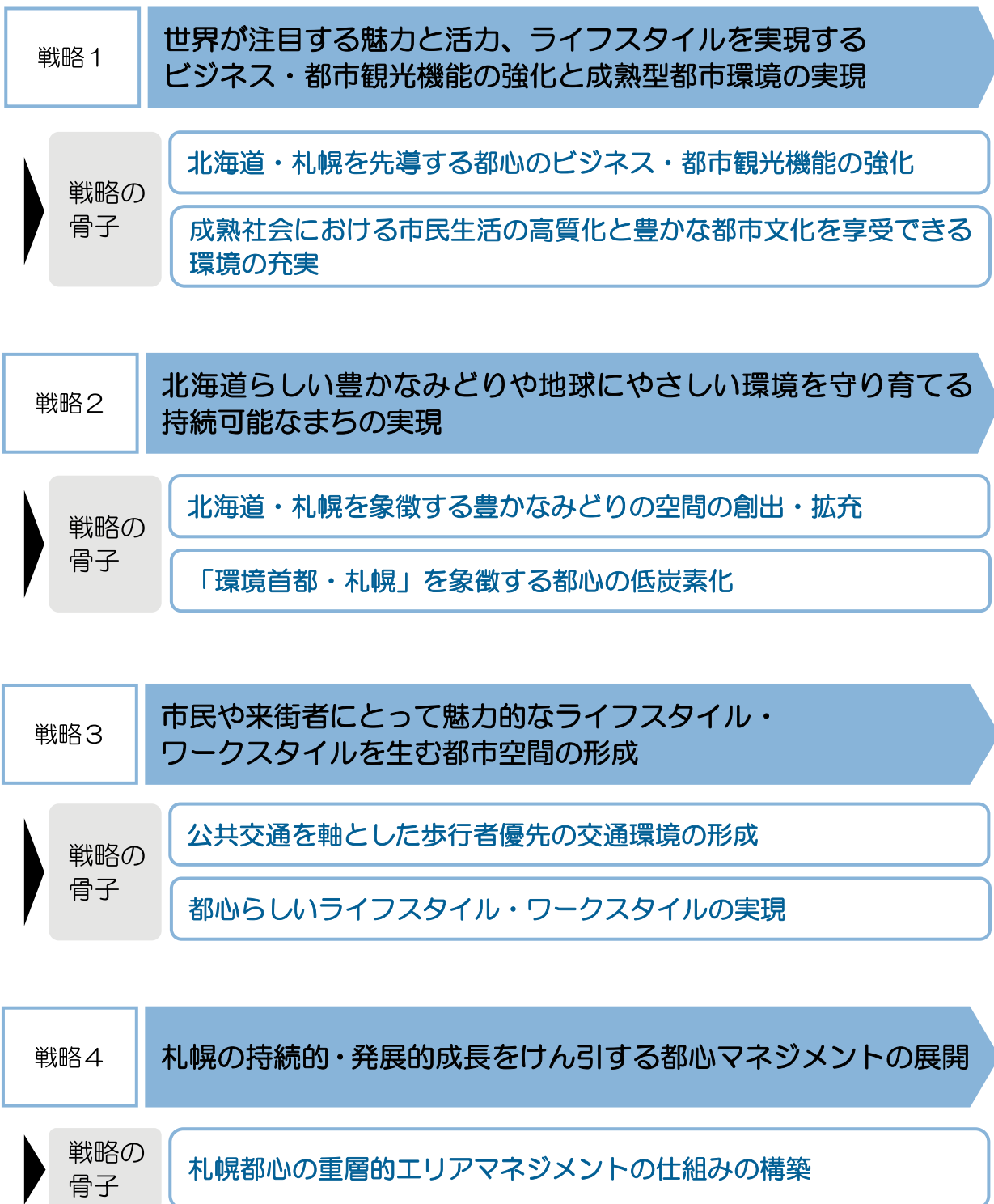
1 都心まちづくりの戦略の考え方

(1) 都心まちづくりを具体的に進めるための視点

都心のまちづくりを着実に展開する上で、波及性・連鎖性の高い取組を重点的に進めることが大事な視点となります。加えて、札幌が将来にわたって国内外に向けて魅力を発信し、注目される都市となる上では、世界に向けた明確なメッセージが必要となります。

そこで、都心まちづくりの目標及び目指す姿と、展開の受け皿となる骨格構造、ターゲットエリアの考え方を踏まえ、特に強力に推進すべき重要な取組を『都心まちづくりの戦略』として位置付け、その具体化のための戦略の骨子を定めます。

(2) 都心まちづくりの戦略



2 【戦略1】世界が注目する魅力と活力、ライフスタイルを実現するビジネス・都市観光機能の強化と成熟型都市環境の実現

国内外に札幌の都市としての発展の可能性を伝え投資意欲を喚起させるとともに、市民が札幌の都市文化を享受できる場の創出を目指します。この取組は、先導的な展開が可能な立地性・基盤整備等の優位性、民間開発等との連携可能性等を踏まえ、特に「都心強化先導エリア」において強力に推進します。

(1) 戦略の骨子

1 北海道・札幌を先導する都心のビジネス・都市観光機能の強化

現状と課題

- ・札幌都心の業務中心地としての移動環境、環境に配慮した地域熱供給基盤の形成
- ・アジア圏からの観光客の増加
- ・他都市と比較した自然災害の少なさによるBCP※9上の優位性
- ・高機能オフィス、水準の高いホテルの不足
- ・他政令指定都市と比較して弱い空港アクセス

※9 BCP：Business Continuity Planning～事業継続計画。

ねらい

- ◎世界が目を向け、投資意欲を喚起される高次な機能・空間を備えた「都心強化先導エリア」の実現
- ◎北海道・札幌の経済をけん引する多様な形態のビジネスが展開できる環境の充実
- ◎ナレッジキャピタル※10やフューチャーセンター※11に代表されるような、人・情報・技術が結びつく機能を札幌版として都心に設け、新たな価値、活動を創出
- ◎自立分散型エネルギー供給施設の整備とエネルギーネットワークの構築等による世界が目を向けるグリーン・強靱な札幌都心のブランドを象徴的に具現化
- ◎札幌・都心の資源や資産を活かした観光交流の促進とMICE環境の充実
- ◎札幌のブランディング※12とトレンドを踏まえた提案力を備え、既存資源を活かした都市観光育成、MICE誘致を強力に展開する仕組み、体制の強化
- ◎都心におけるビジネス・観光交流の多様性を支える東西市街地の連携強化
- ◎札幌の広域的なネットワークの一翼を担う都心と高速道路間のアクセス強化

※10 ナレッジキャピタル：大阪・梅田の「グランフロント大阪」に整備された企業人、研究者、クリエイター、そして一般生活者など様々な人たちが行き交い、それぞれの知を結び合わせて新しい価値を生み出す「知的創造拠点」。

※11 フューチャーセンター：企業、政府、自治体などが中長期的な課題の解決を目指し、様々な関係者を幅広く集め、対話を通じて新たなアイデアや問題の解決手段を見つけ出し、相互協力の下で実践するために設けられる施設。

※12 ブランディング：ブランドを構築するための組織的かつ長期的な取組。

2 成熟社会における市民生活の高質化と豊かな都市文化を享受できる環境の充実

現状と課題

- ・札幌オリンピック（昭和47年）を契機に形成された都市基盤の老朽化、成熟社会に対応した強化・改善の必要性
- ・官民連携による高次な都市文化機能の誘導（北1西1街区など）
- ・創成東地区の人口増など、都心居住者の増加

都心

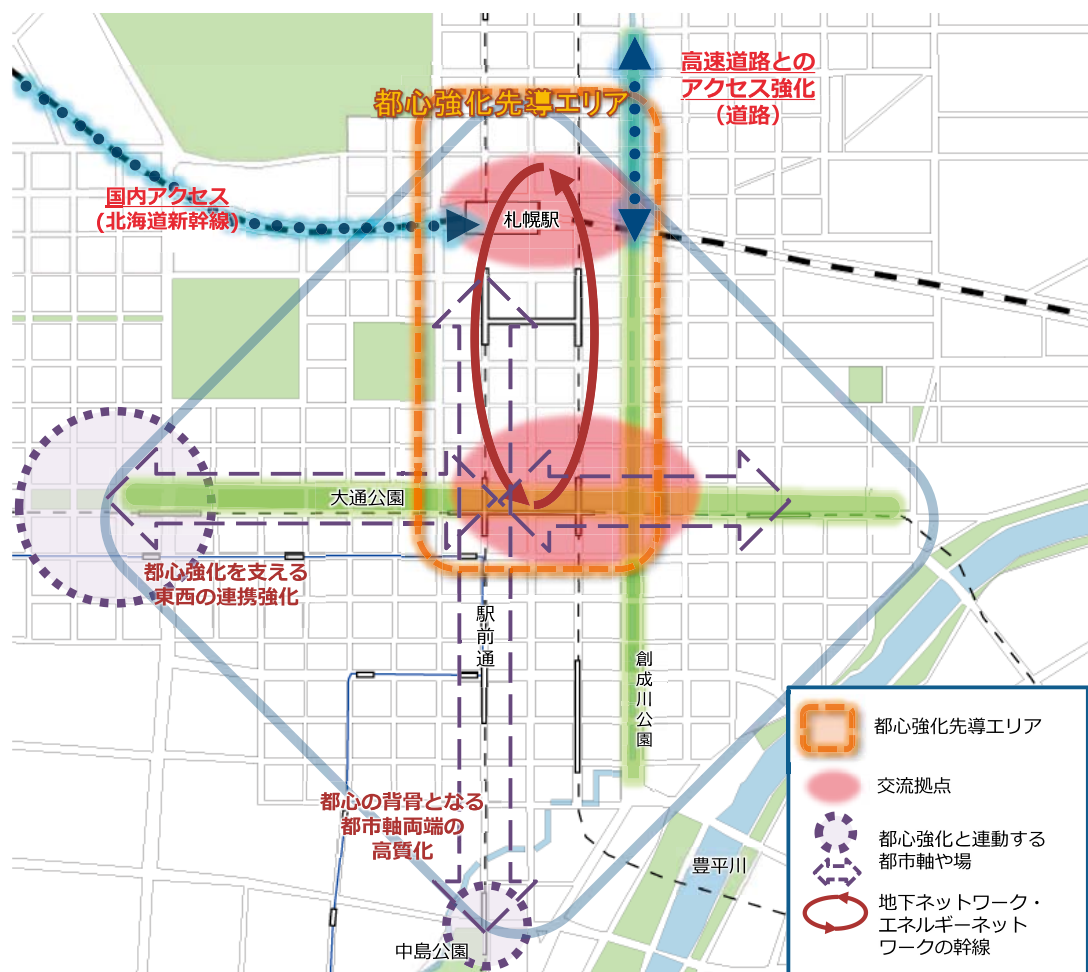
- ◎都市の発展・成長期に形成された地下空間、公共交通等の都市基盤の成熟社会に対応した転換・高質化
- ◎官民連携による、都心ならではの高次の機能集積を活かした、世界が憧れる札幌らしいライフスタイルの実現
- ◎都心東西のエリアをつなぐ札幌の都市文化、価値を体感できる連携強化

(2) 戦略推進のための施策

- 施策 01 国内外からの人・情報・投資を呼び込み活力を創造・象徴する都心のビジネス環境・機能の強化
- 施策 02 災害リスクの低い地理的優位性を活かした、エネルギー多重化によるBCD^{※13}の形成
- 施策 03 札幌・都心の資源や資産を活かした観光交流の促進や MICE 環境の充実
- 施策 04 都市開発や企業立地を促進するインセンティブ^{※14}の構築
- 施策 05 都心強化先導エリアにおける札幌駅交流拠点、大通・創世交流拠点の形成

※13 BCD : Business Continuity District~事業継続基盤強化地区。

※14 インセンティブ : 人の意欲を引き出すために、外部から与える刺激、動機付け、誘因。



3 【戦略2】北海道らしい豊かなみどりや地球にやさしい環境を守り育てる持続可能なまちの実現

北海道・札幌を象徴するみどりの空間形成と低炭素なまちづくりにより、環境にやさしく、持続可能性が高いまちを目指します。

(1) 戦略の骨子

1 北海道・札幌を象徴する豊かなみどりの空間の創出・拡充

現状と課題

- ・札幌市市街化区域における土地利用別緑被率^{※15}をみると、公共用地における緑被率が30%強を占める一方、私有地における緑被率は7%弱（平成26年度値）
- ・都心における樹林地率^{※16}は約9%（平成26年度値）
- ・環境にやさしいまちの実現のため、豊かなみどりの空間の更なる創出の必要性

※15 緑被率：緑被地（樹林地、草地、農地、水面）の割合。

※16 樹林地率：樹林地（街路樹、樹林樹木）の割合。

ねらい

- ◎駅前広場をはじめ、都心の主要なパブリックスペースにおいて、まちなかのみどり豊かな空間形成を促進
- ◎民間再開発事業に合わせたみどりの確保や私有地緑化の支援等、官民連携による都心のみどりの創出

2 「環境首都・札幌」を象徴する都心の低炭素化

現状と課題

- ・業務系建物が約8割を占める都心は、他のエリアと比べ、エネルギー消費量が著しく大きい
- ・都心の大気汚染対策や環境負荷低減に大幅に貢献する熱供給ネットワークが広範囲に展開されているが、中小規模の建物においては未接続の建物も多い
- ・エネルギー消費量が多い老朽化した建物の多くが建替え時期を迎える

ねらい

- ◎環境負荷を低減した高性能なグリーンビル^{※17}の普及促進
- ◎コージェネレーション、再生可能エネルギー等を活用した自立分散型エネルギー供給施設の整備と、熱と電力を面的に有効利用するエネルギーネットワークの構築
- ◎大規模開発・個別建物更新を契機に、グリーンビル化とエネルギーネットワークへの接続を積極的に誘導し、世界のモデルとなる低炭素なまちづくりを推進

※17 グリーンビル：立地、設計、建築、運営、メンテナンス、改装、解体まで、建物のライフサイクル全体を通して、環境に責任のある、資源効率の高い仕組みや方法を用いた建物。

(2) 戦略推進のための施策

- 施策 06 北海道・札幌を象徴する豊かなみどりを感じる空間の創出
- 施策 07 エネルギーネットワークの構築と、同ネットワークへの接続の推進
- 施策 08 環境負荷を低減した環境にやさしいグリーンビルの普及促進



4 【戦略3】市民や来街者にとって魅力的なライフスタイル・ワークスタイルを生む都市空間の形成

市民が四季を通じて憩い、活動できる豊かな都心空間を、官民連携により創造するとともに、誰もが札幌らしいライフスタイル・ワークスタイルを享受できる都心づくりを進めます。

(1) 戦略の骨子

1 公共交通を軸とした歩行者優先の交通環境の形成

現状と課題

- ・「すすきの～大通」間の開通による路面電車ループ化の実現
- ・札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）の整備や民間施設の地下接続による地下歩行ネットワークの拡充
- ・附置義務制度^{※18}の運用による一般車の駐車場の余裕や建物ごとに設置される駐車場の出入口による街並みや歩道の分断
- ・自転車の通行空間や駐輪場の不足による歩行環境の阻害
- ・超高齢社会を背景とした札幌駅、大通駅周辺における上下移動の負担

※18 附置義務制度：一定規模以上の建築物に対して駐車・駐輪施設の附置義務を課す制度。

ねらい

- ◎公共交通の利便性向上と過度な自動車利用の抑制による、人と環境を重視した都心交通環境の創出
- ◎多様な交通モードを活かした誰もが都心に来やすく、移動しやすいまちの実現
- ◎まちづくりと連携した実践的な取組による、歩きたくなるまちの実現

2 都心らしいライフスタイル・ワークスタイルの実現

現状と課題

- ・生産年齢人口の流出と、それに伴う実質市内総生産の減少
- ・市内大卒者の首都圏への高い流出率
- ・創成東地区における居住人口の急増（10年で約2倍の人口増加）

ねらい

- ◎札幌らしい豊かなパブリックライフ^{※19}の実現
- ◎都心の活力の強化を支えるとともに、市民が都心で自己実現できる多様なワークスタイルの展開
- ◎新たなチャレンジを支える起業環境の強化
- ◎既存ストックを活用したSOHO^{※20}やコワーキングスペース^{※21}等の創出

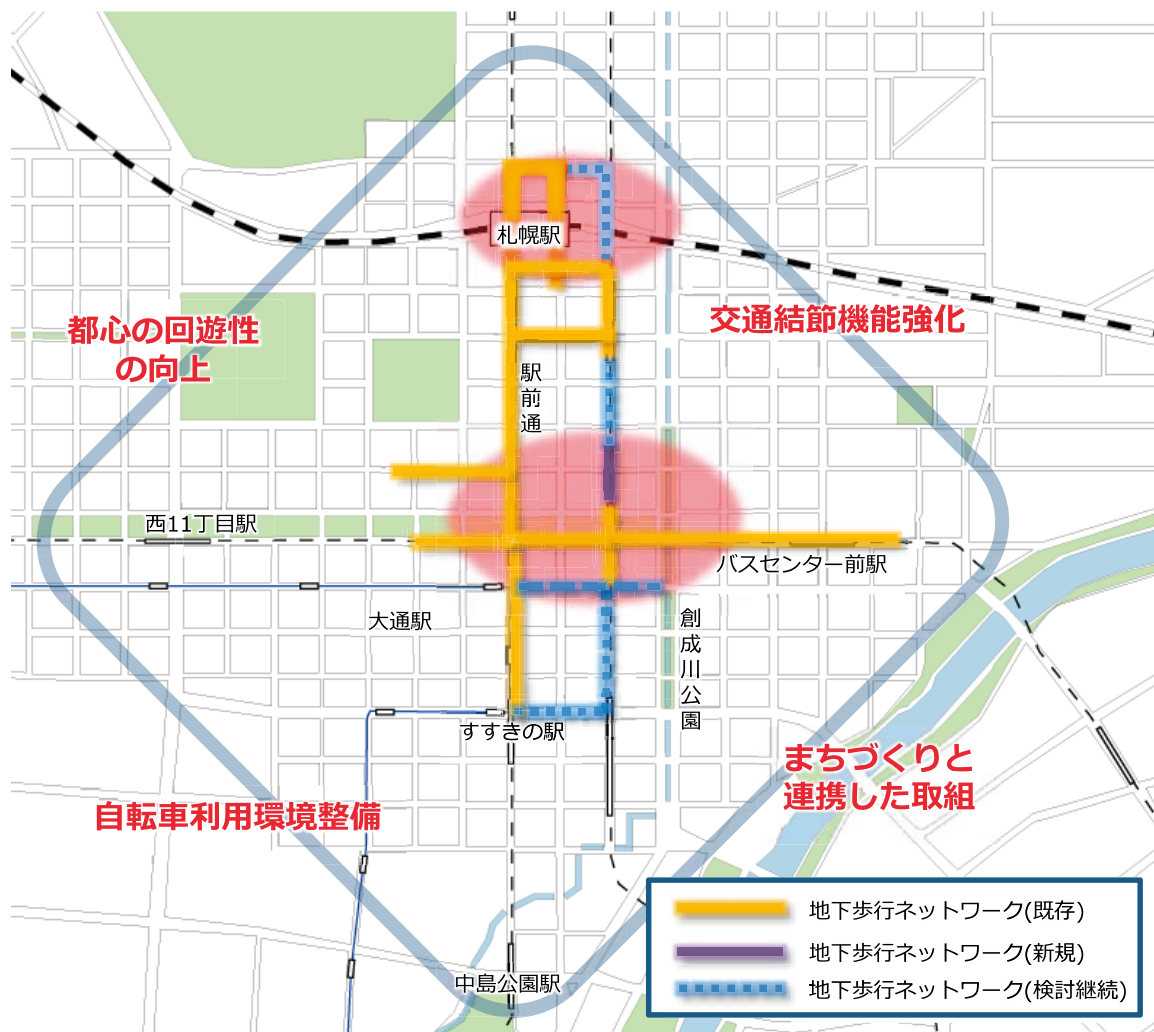
※19 パブリックライフ：働く、学ぶ、遊ぶ、住むといった基本的な都市の生活を支える交流・社交活動。言葉を交わす直接のやり取りだけでなく、人と人、人と都市空間との間の豊かなコミュニケーション活動。

※20 SOHO：Small Office Home Office～パソコンやインターネットを活用した小規模オフィスや自宅で仕事をする形態。

※21 コワーキングスペース：独立して働く人が、机や椅子、ネットワーク設備等を共有しながら仕事を行う場。

(2) 戦略推進のための施策

- 施策 09 快適に過ごせる人を中心とした回遊環境の整備
- 施策 10 誰もが都心にアクセスできる利便性の高い交通ネットワークの充実
- 施策 11 誰もが都心の魅力と活力を享受できる生活環境・公共空間の整備
- 施策 12 都心における多様なワークスタイルを支える就業環境の強化



5 【戦略4】札幌の持続的・発展的成長をけん引する 都心マネジメントの展開

都心まちづくりを持続的・発展的に展開するために、多様な主体からなるまちづくりの推進体制を構築します。

(1) 戦略の骨子

1 札幌都心の重層的エリアマネジメントの仕組みの構築

現状と課題

- ・まちづくり会社の設立と主に公共空間を活用したイベント事業等の展開
- ・道路占用の特例制度を活用した公共空間の先進的な活用
- ・札幌・都心の魅力を対外的に発信する強力なシティプロモートの要請
- ・創成東地区における地域主体のまちづくり活動の実験的展開、まちづくり組織化に向けた機運の高まり
- ・エリア別の取組の波及効果・相乗効果による都心の活力創造を目指したエリア間の連携強化の必要性

ねらい

- ◎都市づくりの理念の展開に資する都心の一体的なマネジメントの推進
 - Sustainability**：環境配慮型市街地形成を目指す、スマートシティ^{※22} マネジメント
 - Livability**：公共空間の積極的活用や居住・就業環境の充実を目指す、エリアの魅力アップマネジメント
 - Innovation**：国内外からの来街者誘致・MICE 環境の強化等、世界に発信する国際戦略マネジメント
 - Economy・Employment**：国内外からの企業立地促進等、投資喚起と新たな起業・創業に資するシティプロモートマネジメント
- ◎エリアマネジメント組織がまちづくりの観点から地域の開発に事前に関与できる仕組みの検討
- ◎都心主要地区における、公共・共用空間の活用や既存ストックのリノベーション^{※23}等を通じたエリア間の活動連携の促進
- ◎創成東地区など、各エリアにおけるまちづくり機運の高まりを踏まえ、関係者との協議・調整や活動の支援を通じて、地区特性に応じたエリアマネジメントの仕組みづくりを実現
- ◎既存のエリアマネジメント活動の強化・促進・育成

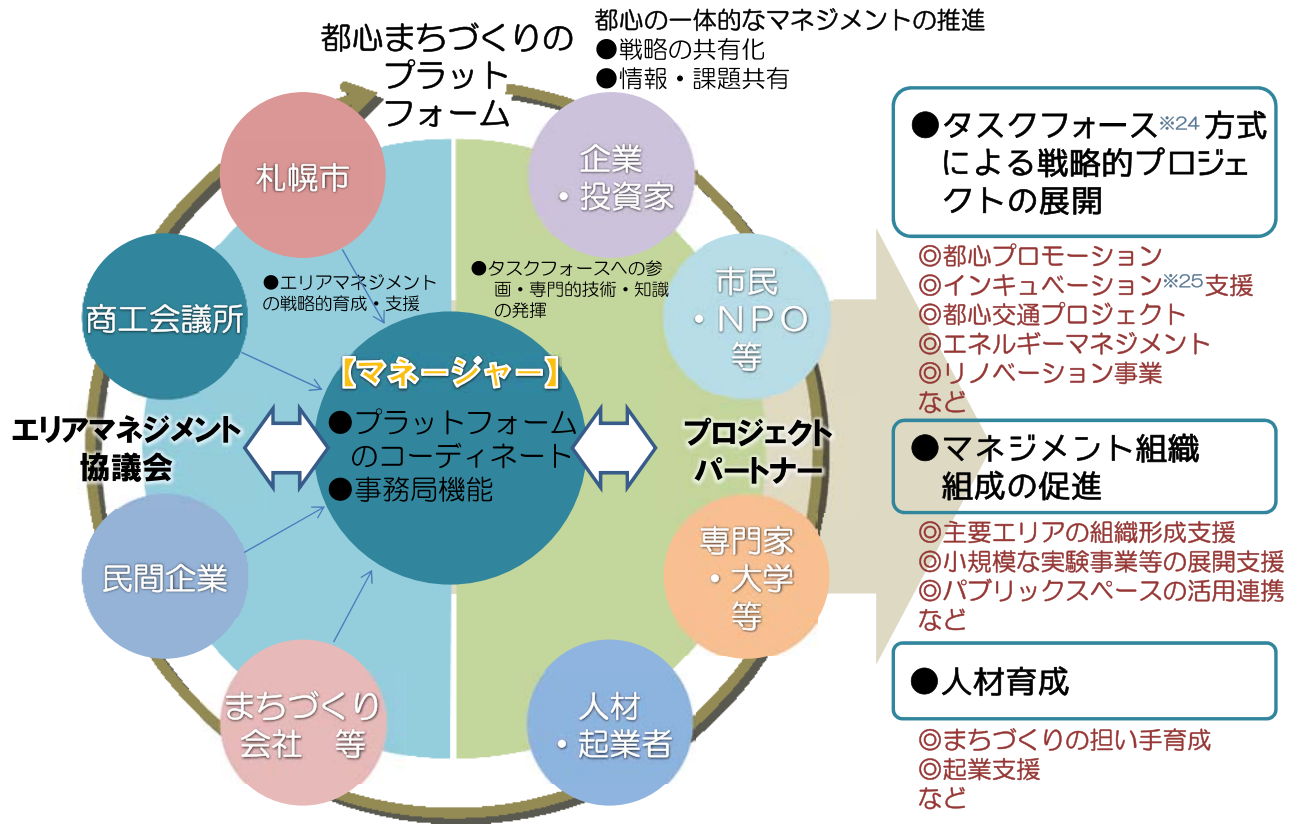
※22 スマートシティ：情報通信やその他の技術を駆使して、エネルギー消費を管理し、最適に制御された都市。

※23 リノベーション：既存建物の改装等を行い用途変更や高度化を図ることで、建物に新しい価値を加えること。

(2) 戦略推進のための施策

- 施策 13 都心の魅力と活力を束ね発信するプラットフォームの組成
- 施策 14 エリア・場の特性に応じたマネジメントの促進
- 施策 15 周辺エリアとの連携による北海道・札幌の魅力発信の推進

●都心のまちづくりの関係主体からなるプラットフォームの組成



※24 タスクフォース：特定の課題に取り組むために設置される組織。

※25 インキュベーション：本来は卵などがふ化するという意味。ここでは、起業家の育成やビジネスを支援すること。

●都心まちづくりの重層的なマネジメントの展開イメージ

